

# 令和7年度学校経営計画

東京都立小平西高等学校長

福田 順子

## 1 スクールミッション

知性と感性に富んだ創造力を育て、自主性と社会性に裏付けられた協調の精神を養い、生命を尊び、健やかな心身を育成します。全ての教育活動において多様な考えに基づいた活動を体験させ、持続可能な社会の形成者としての自律心と国際社会を見据えながら地域連携の視点も大切にした上で、自らの未来を切り拓く確固たる自信を醸成し、学びに向かう姿勢を育成します。

## 2 スクール・ポリシー

### (1) グラデュエーション・ポリシー

学力と人間力（人間性、社会性）を育むとともに多様な考えを受け入れ、地域社会に貢献し国際社会に通用する人を育てる。

### (2) アドミッション・ポリシー

将来を見据え、社会を構成する一員としての自覚を持ち、自ら考えることによって課題解決することに粘り強く努力できる人材を求める。

### (3) カリキュラム・ポリシー

新時代（Society5.0・AIの文明）の要請を受け入れるとともに知・徳・体のバランスを考慮し、生涯にわたって持続的に学ぶことができる教養の土台を身に付ける。

## 3 目指す学校像

(1) 社会の形成者として自律した生活を営む力を育てる学校

(2) 多様性を理解し、他者への尊厳を受け入れることができる人格を育てる学校

(3) 多角的で広い視野を持つグローバルな視点を持ち、国際社会に対応できる人材を育成する学校

## 4 中期的目標と方策

学習指導	<b>【主体的・対話的で深い学びの実現】</b>
	(1) デジタル技術の活用や対話的な授業を推進し、生徒の興味・関心を向上させ、生徒が主体的に学びに取り組み、深く考える力を育成する。
	(2) 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、生徒一人一人を大切に、生徒を主語とした授業を実践するための授業改善を促進する。
	(3) 探究的な学びを意識した授業を創意工夫し、思考力・判断力・表現力を培い、将来、社会に積極的に貢献しようとする態度を育成する。
進路指導	<b>【自己の進路を意欲的に開拓できる生徒の育成】</b>
	(1) 3年間を見通した意図的・計画的で系統的な進路指導体制を再構築し、全教員で生徒の多様な進路希望の実現を図る。
	(2) 模試分析会、三者面談、保護者会等を通して、生徒の学力状況や進路希望を情報共有し、保護者の理解・協力を得ながら質の高い進路指導を実現する。
	(3) オープンキャンパス、インターンシップ等の体験的な活動を充実させ、生徒自ら将来像を描き、主体的に進路選択を考える力を育成する。

生活指導・特別活動	<p><b>【生徒の主体性を育み、生命尊重の精神を涵養する指導】</b></p> <p>(1) 生徒会活動や学校行事、部活動等において、企画運営等を側面から組織的に支援し、計画的に生徒の主体性や自己肯定感を醸成する教育活動を実践する。</p> <p>(2) 基本的生活習慣を確立させるとともに、規範意識を向上させ、生徒の自己管理能力を育成する。</p> <p>(3) ボランティア活動を通して社会貢献意識を養うとともに、人権尊重の精神の涵養と社会性を育成する教育活動を実践する。</p> <p>(4) 教育活動全般を通して、多様性を尊重し個性を伸ばすことができるよう、自他の生命を大切にする心を養い、いじめのない豊かな人間関係作りや道徳心を培う教育を推進する。</p>
健康・安全	<p><b>【健康・安全指導、特別な支援を要する生徒への支援体制を構築】</b></p> <p>(1) 心身の健康を育むため、組織的、計画的な体力づくり、健康づくりを推進する。</p> <p>(2) 関係機関と連携して、特別な支援を必要とする生徒への支援体制を学校全体で組織的に構築する。</p> <p>(3) 日常の清掃から環境整備等に努め、校舎内外の美化を徹底し、清潔で明るい学習環境を整備する。</p> <p>(4) 学校安全計画に基づき地震等の様々な事象に応じた安全対策や避難訓練を計画し、実施する。また、地域と連携した実践的な防災訓練等を実施し、防災に対する意識を醸成するとともに、地域や社会の一員として貢献する能力と態度を育成する。</p>
国際理解教育	<p><b>【国際社会における多様な価値観を理解し、互いに尊重しあえる態度を育成】</b></p> <p>(1) TGG等の体験型施設を利用し、異文化体験の場を積極的に活用する。</p> <p>(2) 都教育委員会が実施する国際理解に係る事業等を積極的に活用し、基盤となる英語力の向上を図る。</p> <p>(3) 国際理解教育を進め、多様性を尊重しグローバル社会で貢献できる人材の育成に努める。</p>
募集活動 広報活動	<p><b>【効果的な広報活動による本校の魅力の発信】</b></p> <p>(1) デジタルを活用した広報活動を積極的に展開するとともに、学校見学会や学校説明会、中学校及び学習塾訪問を組織的に推進し、学校PRを充実させ、入選倍率の増加につなげる。</p> <p>(2) 学校行事や学校開放事業等を通して、開かれた学校づくりを推進する。</p>
経営企画室	<p><b>【職員室と経営企画室の連携による各種事務処理の円滑化を推進】</b></p> <p>(1) 校長の予算編成指針に沿った、費用対効果が期待できる予算の効率的な編成・執行に努める。</p> <p>(2) 生徒が安全で安心して学校生活を送れるように、施設・設備の警備、点検、整備を行い、施設の安全性を確保する。</p>
学校経営	<p><b>【全教職員が連携し、分掌等が組織的に機能して特色ある教育活動を展開】</b></p> <p>(1) 教職員間の連携を密にし、各分掌主任を中心として、組織的に校務分掌間で業務を横断的に連携して遂行する。</p> <p>(2) OJTを計画的、組織的に推進し、教職員に求められる資質・能力を高めるとともに、全教職員の情報共有や経営参画を進める。</p> <p>(3) 教育公務員として法令を遵守し、服務事故を絶対に起こさないよう組織的に対応</p>

	<p>し、地域社会から信頼される職務遂行を徹底する。</p> <p>(4) 業務見直しと業務効率化により業務の偏りを解消し、働き方改革によるライフ・ワーク・バランスを促進する。</p>
--	--

## 5 今年度の取り組み目標と方策

### (1) 教育活動の目標と方策

#### ア 学習指導

- ① 教育のDXを推進し、一人1台の学習者用端末等のデジタル機器及び学習クラウドサービス等を活用して、生徒が自ら積極的に学びに向かうための学習環境を整えるとともに、リアテンダントを効果的に活用することで、結果を各教科で分析し、生徒の学力向上に向け、組織的な授業改善を図る。また、長期休業中の講習や学期中の補習を適宜実施し、生徒の学びを支援する。
- ② 教科内及び教科を越えた教員相互の授業観察、校外研修の受講奨励及び校内研修等を促進し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、生徒を主語とした授業を実践するための授業改善を推進する。(教員相互の授業参観：授業参観シートを用いて年間3回以上実施)
- ③ 探究的な学びを意識した学習活動を通して、基礎学力だけでなく、実践的な思考力、判断力、表現力を引き出す学習活動を実践する。

#### イ 進路指導 進学指導に対する生徒の満足度

- ① 大学短大進学率65%以上、進路決定率100%を目指し、進路指導部を中心に模試分析会を実施し、生徒の学力状況等について情報共有を図る。
- ② 外部機関と連携した各種講習会を開催し、学力上位層に上級学校入学選抜に向けた進路指導を推進する。
- ③ 進路指導部が主導して進路企画を立案し、学年と連携して入学時から進路実現を意識した、意図的・計画的で系統的な進路指導を再構築する。
- ④ 多様な進路希望に幅広く柔軟に対応し、生徒個々に応じた進路指導をコーディネートすることで、生徒の進路実現を支援していく。
- ⑤ 教員向けの進路校内研修を企画・運営し、生徒一人一人の実態に即した進路指導に繋げる。

#### ウ 生活指導・特別活動

- ① 生徒会活動や学校行事、部活動等の企画運営等における生徒の主体的な参加を促すとともに、生徒中心の企画運営等ができるよう、話し合いや発表の場等で必要な支援を行い、生徒の達成感や帰属意識を高め、自己肯定感を育む指導を行い、生徒の満足度を向上させる。
- ② 校則の在り方やスマートフォン等の使用方法、SNS小平西ルールの改訂等について生徒とともに検討し、生徒が自ら考え、進んで規則を守っていく自己管理能力を定着させる。
- ③ 生活指導部を中心に全教職員が統一した基準に基づき、挨拶指導、身だしなみ指導、時間を守る指導等を粘り強く行い、社会人として求められる規律やマナーを適切に指導し、生徒の規範意識を醸成する。
- ④ 時間厳守等のけじめのある部活動を実施し、学習と部活動を両立させる指導を徹底する。また、部活動に準ずる活動とボランティア等の体験的な活動の機会を生徒に促し社会貢献の意識と人権尊重の精神の涵養に資する教育活動を実践する。
- ⑤ 登下校時の交通ルール、特に自転車安全運転指導を促進し、ヘルメット着用、道路交通法の周知及び徹底を図り、事故を未然に防ぐとともに、通学路等でのマナー向上指導を徹底する。
- ⑥ 安心、安全な学校生活を実現するため、教職員がスクールカウンセラーやユースソーシャルワ

一カー等と連携し、組織的な相談体制をさらに充実させ、生徒一人一人の心身の健康を保持・増進させる。

- ⑦ 教育活動全般を通して多様性を尊重し、個性を伸ばすことができるよう、人権尊重の理念の下、思いやりの心を醸成し、全教職員が組織的に、いじめや不登校の未然防止、早期発見、早期対応に取り組む。また、生命尊重に資する教育やSOSの出し方に関する教育を推進し、生徒の健全育成に向け、教職員全員で取り組む。
- ⑧ 学校行事、学年行事等の際、地元のコミュニティや地域社会との連携や働きかけなどの視点について指導を行うことにより、社会に開かれた特別活動になるよう努める。

#### エ 健康・安全教育

- ① 「TOKYO ACTIVE PLAN for students」（総合的な子供の基礎体力向上方策（第4次推進計画））を踏まえて、生徒の体力向上及び健康の保持増進を目指す。
- ② 生徒一人一人が安全で安心して学校生活を送れるよう、特別支援教育コーディネーターを中心に、教職員とスクールカウンセラー等が連携し、心身の健康にかかる情報を学校全体で共有し、組織的な体制を充実させる。また、コンディションレポートの運用を工夫するとともに、教育相談委員会を年5回以上開催する。
- ③ 特別支援教育コーディネーター及び通級指導担当を中心に、外部機関と連携した通級指導を実施するとともにインクルーシブ教育を推進し、学校生活支援シート及び個別指導計画の作成し活用する。
- ④ 充実した学校生活に資する環境の整備に努め、清掃活動を徹底し、清潔で明るい学習環境を整備する。
- ⑤ 緊急時の連絡方法及び対応手順を把握する等、学校全体での緊急時のシミュレーションを確認する。
- ⑥ 学校安全計画に基づき、様々な事象に応じた安全対策や避難訓練を計画し、自助、共助、公助の精神を醸成する。また、防災教育推進委員会を年2回実施し、外部委員からの具体的な助言を踏まえて、地域と連携した防災訓練や避難訓練を企画・立案・実施する。

#### オ 国際理解教育

- ① TGG等の体験型施設を利用した異文化体験の場を積極的に活用し、体験活動を通じて、英語によるコミュニケーション力、表現力の育成を図る。
- ② 都教育委員会が実施する国際理解に係る事業等を活用し、基盤となる英語力の向上を図るとともに、グローバル社会で活躍できる人材を育成する。
- ③ ALTやJETを活用した英語による英語授業を充実させ、「生きた英語」を身に付けるとともに、英語4技能の向上を図る。

#### カ 募集活動・広報活動

- ① 学校PR動画を更新するとともに、教育活動の実践・成果等について、学校ホームページを活用して200回以上更新し、SNSを活用することの検討等、デジタルを活用して生徒の充実した学校生活の様子を発信することで学校PRを充実させ、入選倍率の増加につなげる。
- ② 学校見学会、学校説明会、校外での進路説明会を教職員全員で企画・運営・実施するとともに、在校生による中学校訪問、教職員による学習塾訪問を実施し、学校の魅力を中学生等に丁寧に説明し、入選倍率の増加につなげる。
- ③ 学校行事に、近隣の方々や小中学生を招待し、本校の教育活動と生徒の様子を公開する。

#### キ 経営企画室

- ① 予算編成時のヒアリングを綿密に行う、予算編成に当たっては校長の予算編成指針を軸に、学校経営計画の目標達成を実現させる予算を目指す、余剰在庫等把握した上で効果的な予算編成・執行を行う。
- ② 日常の点検、業者の定期点検等で発見された不具合は早急に修繕依頼を行う、工事の計画に当たっては教員との意見交換を行いながら、生徒の安全を確保し、かつ学校生活への影響を最小限にするよう調整を行う。

#### ク 学校経営

- ① 各分掌主任を中心とした組織体制の下、校務分掌間で協力体制を築き、業務の効率化と円滑な連絡・報告・相談を通じて、全教職員が情報を共有し経営参画をしていく体制づくりを推進する。
- ② 外部研修の受講を奨励し、教員の授業力向上や教育課題への対応力を育成する。
- ③ 校内D Xの推進に向けた校内研修等を通じて、知識・技能の向上を促進し、教育のD Xを推進する。
- ④ 生徒の実態を鑑みた教育課程の見直しと各教科の状況を見通した教員の再配置等を検討する。
- ⑤ 図書館と連携し、放課後に自習できる学習スペースとして図書館を活用するなど、生徒の学習環境を整備する。
- ⑥ 体罰を根絶し、学校事故等の未然防止に努め、生徒の安全・安心を確保するとともに、保護者や都民の信頼を損なう事案が生じることのないようコンプライアンスを遵守し、教職員のサービスの厳正を徹底する。
- ⑦ 校務・業務の見直しと業務の効率化により業務の均等化を推進し、教職員がサポートし合える協力体制を整え、組織の対応力を高めることで、ライフ・ワーク・バランスの実現を図る。

#### 6 今年度の重点目標と方策

令和7年度は、特に以下のことについて、重点的に取り組む。

- (1) 教育のD Xを推進し、生徒が自ら積極的に学びに向かうための学習環境を整えるとともに、生徒の学力向上に向け、組織的な授業改善を図り、生徒及び保護者からの授業満足度の向上を図る。
- (2) 進路指導部が主体となり、3年間を見通した意図的・計画的で系統的な進路指導を学年と計画し、進路希望の明確化と、学年と進路指導部が連携して円滑な進路指導を推進し、進学指導に対する生徒の満足度を向上させる。
- (3) 生徒会活動や学校行事、部活動等において、生徒中心の活動ができるよう、教員が組織的に支援し、生徒の達成感や自己肯定感を育む指導を行い、学校生活の満足度を向上させる。  
生活指導部を中心に全教職員が統一した基準に基づき、社会人として求められる規律やマナーを適切に指導し、生徒の規範意識を向上させる。
- (4) 生徒一人一人が安全で安心して学校生活を送れるよう、特別支援コーディネーターを中心に教職員、スクールカウンセラーやユースソーシャルワーカー等と連携し、組織的な相談体制を充実させ、生徒の心身の健康を保持・増進させる。
- (5) デジタルを活用した広報活動を積極的に展開するとともに、学校見学会や学校説明会、中学校及び学習塾訪問を組織的に推進し、学校P Rを充実させ、入選倍率の増加を目指す。
- (6) 各分掌主任を中心とした組織体制の下、校務分掌間で協力体制を築き、業務の効率化と円滑な連絡・報告・相談を通じて、全教職員が情報を共有し経営参画をしていく体制づくりを推進する。  
教職員のサービスの厳正を徹底し、コンプライアンスを遵守し、個人情報紛失、会計事故、体罰等の、学校事故を0とする。

目標項目		令和7年度目標値	実績値	
			令和5年度	令和6年度
学習指導	ICTを活用しグループ学習を取り入れ、主体的な学びであると回答した生徒の割合	75%以上	78.1%	86.6%
	講習や補習の充実度（生徒）	75%以上	77.8%	79.4%
	実用英語検定準2級以上合格者	40名以上	47名	42名
	漢字検定準2級以上合格者	10名以上	15名	22名
	自習室利用者数	1,000名以上	1,121名	1,306名
進路指導	進路指導満足度（生徒）	80%以上	84.5%	87.4%
	大学・短大合格者数	130名以上	153名	145名
	日東駒専レベル以上大学合格者数	12名以上	13名	16名
	就職決定率	90%以上	100%	100%
特別活動	学校行事満足度（生徒）	80%以上	91.4%	91.1%
	部活動加入率	80%以上	71.6%	70.8%
	上位大会進出（都大会ベスト32以上）	5部以上	4部	2部
	地域貢献活動回数	5回以上	4回	5回
生活指導	自己指導能力の実現度（生徒）	90%以上	93.0%	93.8%
	年間遅刻延べ回数	2,500件以内	5,380件	7,532件
	いじめ問題への対応度（生徒）	80%以上	87.0%	87.1%
募集活動・ 広報活動	学校ホームページ更新回数	250回以上	295回	144回
	中進対第1志望の倍率	1.30倍以上	1.40倍	1.08倍
	推薦入試の応募倍率	3.25倍以上	3.64倍	2.89倍
	一般入試（学力一次）の応募倍率	1.30倍以上	1.50倍	1.20倍
	学校見学会・学校説明会等の参加者数	2,200名以上	2,476名	2,365名
学校経営	学校生活の充実度（生徒）	80%以上	86.9%	89.5%
	学校教育への満足度（保護者）	80%以上	87.7%	86.1%
	教職員の働き方改革（教員）	75%以上	64.9%	74.2%